

## 教育学部子ども教育学科専攻科目のカリキュラムマップ

<b>養成する人材像</b>		人間に対する深い洞察と尊敬をもちながら、子ども学という学際的な視野から社会・文化・人間のあり方を問い直す中で身につけた知識や技能を活かし、子どもを取り巻く諸問題を他者との協働の中で解決することを通して社会に貢献する人材を育成する。				
<b>ディプロマ・ポリシー</b>		<p>■DP1 知識・理解</p> <p>①保育・教育・福祉・医療・心理などの領域で構成される子ども学の知識を深く理解している。</p> <p>②子どもの成長発達を支えるために必要な専門的知識や技能を身につけている。</p> <p>③子どもを取り巻く環境や事象が子どもの発達に与える影響や、保育者、教師、家庭・地域の人々が果たす役割について理解している。</p> <p>■DP2 汎用的技能</p> <p>①保育・教育に関する数量データを含む情報を自らの問題意識に基づいて収集し、統計学の技法等を活用して、論理的に分析・考察することができる。</p> <p>②子どもの成長発達を支える現場の保育者、教師、家庭・地域の人々など立場の異なる他者に寄り添うことができる。</p> <p>③他者の考えを受け止めながら自分の考え方が伝わるように表現し、問題の共有や解決のために協働することができる。</p> <p>■DP3 態度・志向性</p> <p>①人間の成長発達の最も重要な時期に保育者・教師といった職業人として関わることの自覚と責任感をもっている。</p> <p>②従来のある方に固執することなく、目の前にある問題や社会的課題の解決を目指して学び続ける姿勢をもっている。</p> <p>③保育者、教師、家庭・地域の人々など多様な他者と連携・協働し、子どもを第一に考えた判断ができる。</p> <p>■DP4 統合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>①子どもの成長発達についての専門的知識や実践的な学びに基づいて、自ら計画を立案し、実践、振り返りのマネジメントを適切に行うことができる。</p> <p>②子ども学の知識と、保育・教育現場における様々な経験を統合し、自ら課題を発見し、問題の解決策を提示し、それを実践することができる。</p>				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために			
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)
			◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目			
専攻科目	必修	総合子ども学基礎演習Ⅰ	○	◎	○	◎
		総合子ども学基礎演習Ⅱ	○	◎	○	◎
		子ども学演習Ⅰ	○	○	○	○
		子ども学演習Ⅱ	○	○	○	○
		子ども学演習Ⅲ	○	○	○	○
		子ども学演習Ⅳ	○	○	○	○
		卒業研究演習	○	○	◎	○
	選択必修	現代教育論	◎	△	○	○
		人間発達論	◎	○	○	△
		教育心理学	◎	△	○	○
		人間発達研究法	○	◎	○	△
		教育社会学	◎	○	○	△
		教育方法・技術論	○	△	○	◎
		教育におけるICT活用	○	◎	○	○
		教育課程論	◎	○	○	○
		教育史	◎	△	○	○
		教育相談	○	◎	△	○
		生涯学習論	◎	△	△	○
		子ども学	○	△	◎	◎
		子ども家庭福祉論	◎	△	○	○
		保育原理	◎	○	○	△
		社会的養護	◎	△	○	○
		保育内容総論	◎	○	○	○
		保育相談支援	△	○	○	◎
		幼児教育学	◎	○	○	△
		幼児教育課程論	◎	○	○	○
		子ども社会学	◎	△	○	○
		遊び学習論	○	◎	○	○
		幼児理解	◎	○	△	○
		国際子ども理解	◎	○	○	○
		教職論	○	○	○	△
		教育原理	◎	△	○	○
		幼児と健康	◎	○	○	○
		幼児と人間関係	◎	○	○	○
		幼児と環境	◎	○	○	○

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目			
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)
専攻科目	選択必修	幼児と言葉	◎	○	○	○
		幼児と音楽表現	◎	○	○	△
		幼児と造形表現	◎	○	○	○
		保育内容の指導法 (健康)	○	○	○	○
		保育内容の指導法 (人間関係)	○	○	○	○
		保育内容の指導法 (環境)	◎	○	○	○
		保育内容の指導法 (言葉)	◎	○	○	○
		保育内容の指導法 (表現)	○	◎	○	○
		初等教科教育法 (国語)	○	◎	△	○
		初等教科教育法 (社会)	○	◎	△	○
		初等教科教育法 (算数)	○	◎	△	○
		初等教科教育法 (理科)	○	◎	△	○
		初等教科教育法 (生活)	○	◎	○	○
		初等教科教育法 (音楽)	○	◎	○	○
		初等教科教育法 (図画工作)	○	◎	○	○
		初等教科教育法 (家庭)	○	◎	△	○
		初等教科教育法 (体育)	○	◎	○	△
		初等教科教育法 (英語)	◎	○	△	○
		道德教育の指導法	◎	○	△	○
		特別活動の指導法	◎	○	△	○
		総合的な学習の時間の指導法	○	○	○	◎
		生徒指導・進路指導論	○	◎	○	○
		教育実習 I	○	◎	○	○
		教育実習 II	○	○	◎	○
		教職実践演習 (幼・小)	○	○	○	◎
		国語概論	◎	○	○	△
		社会概論	◎	○	△	○
		算数概論	◎	○	○	△
		理科概論	◎	○	○	△
		生活概論	◎	○	△	○
		家庭概論	◎	○	△	△
		英語概論	◎	○	△	○
		器楽・声楽 I	◎	○	○	△
		器楽・声楽 II	○	◎	○	△
		絵画・造形 I	◎	○	○	△
		絵画・造形 II	○	◎	○	○
		体育 I	○	◎	○	△
		体育 II	○	○	◎	△
		社会福祉学	◎	○	○	△
		子どもの保健	◎	○	○	△
		子どもの食と栄養	◎	○	○	△
		家庭支援論	△	○	◎	○
		乳児保育 I	◎	○	○	△
		乳児保育 II	○	○	◎	○
		特別支援教育	◎	○	○	△
		社会的養護内容	◎	○	○	△
		子育て支援論	○	◎	○	○
		地域福祉論	○	△	○	◎
		保育実習 I A	○	○	◎	○
		保育実習 I B	○	○	◎	○
		保育実習指導 I A	○	◎	○	○
		保育実習指導 I B	○	◎	○	○
		保育実習 II	○	○	○	◎
		保育実習指導 II	○	○	◎	○
保育実習 III	○	○	◎	○		

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	ディプロマ・ポリシーを達成するために ◎特に重要な項目 ○重要な項目 △望ましい項目			
			DP1 知識・理解 (基礎力)	DP2 汎用的技能 (思考力・実践力)	DP3 態度・志向性 (思考力・実践力)	DP4 統合的な学習 経験と創造的思考力 (実践力)
専攻科目	選択必修	保育実習指導Ⅲ	○	○	○	◎
		保育の表現技術	◎	○	○	○
		総合表現	△	○	○	◎
		子どもと遊び文化Ⅰ	○	○	○	◎
		子どもと遊び文化Ⅱ	○	○	○	◎
		子どもと表現Ⅰ	△	○	○	◎
		子どもと表現Ⅱ	△	◎	○	
		子どもの医療と安全	◎	○	○	○
		病児保育演習	○	○	◎	△
		子ども家庭支援の心理学	○	◎	○	○
	自由選択	教職実践基礎演習Ⅰ	◎	○	○	△
		教職実践基礎演習ⅡA	◎	△	○	○
		教職実践基礎演習ⅡB	◎	○	○	△
		教職実践基礎演習ⅢA	◎	○	○	△
		教職実践基礎演習ⅢB	○	△	○	◎
		教職実践基礎演習Ⅳ	○	○	○	◎
		幼保実践演習Ⅰ	○	○	○	◎
		幼保実践演習Ⅱ		◎	○	○
		教育・保育海外演習A	○	○	○	◎
		教育・保育海外演習B	○	○	○	◎